

愛知トヨタ自動車 刈谷営業所



1

2001年に「環境方針」を策定し、その基本理念に基づいて環境問題においても積極的に取り組んでいる愛知トヨタ自動車の刈谷営業所。

建て替えに伴う店舗リニューアルにあたり、店舗全体の省エネ化はもちろん、かねてより改善が求められていた昼間営業時における沿道からの店舗視認性向上のため、LED光源を全面採用。壁面を中心とする鉛直面の明るさ感アップを主眼とした照明計画により、自然光が燦々と降り注ぐガラス張りファサードの店舗においても、一目でドライバーから営業中と認識される視認性の獲得が目指された。

まず建築計画において、開放的な店舗前面のショールームと落ち着いた雰囲気を持つ店舗奥の商談スペースを明確に分離。商談スペースの天井高を下げることで店舗全体を横断する下がり壁を設け、それを中心とする鉛直面に重点的に光を当てることで、店舗全体の明るさを飛躍的に向上させることに成功したのだ。

また、LED光源の特徴である調光・調色機能もフル活用。外光とのバランスを感知する昼光センサーに

LEDの調光・調色+照度センサーで外光と照明が連動し、居心地の良い空間とCO₂排出量削減を両立したショールーム

よる照度制御をはじめ、サーカディアンリズムを基にした午前・午後・夜間における色温度設定など、省エネと快適さを両立させる先進の照明計画が随所に施されている。

照明のLED化により、従来と比べ約50%、さらに調光・調色システムの導入により約70%の電力削減が可能となった。

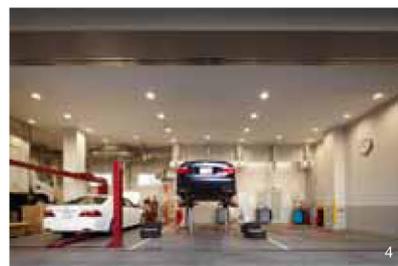
1.ショールーム夕景。2.下がり壁には、車塗装でおなじみのオーロラペイントが施され、見る角度によって色味が変化。その独特の光沢感とあいまって店舗の視認性アップにより貢献している。3.ショールーム内観。ユニバーサルダウンライト等で壁面の照度アップを図ることでベース照明の照度を抑え、より少ない電力で明るさ感を得られる照明計画を実現。



2



3



4

4.隣接する整備工場の照明にもLED光源を採用。熱負荷の少ない光源により、空調電力の低減をはじめ、スタッフに対してもより快適な働く場を提供している。

●事業者／愛知トヨタ自動車 ●所在地／愛知県刈谷市高松町4-33 ●竣工年月／2012年9月 ●導入面積／1階ショールーム(車両展示部分)約247㎡ ●照明計画・デザイン／【設計監理】林秀行・服部信行・大野真和(中目設計) 【照明計画・デザイン】西 美加(パナソニック)